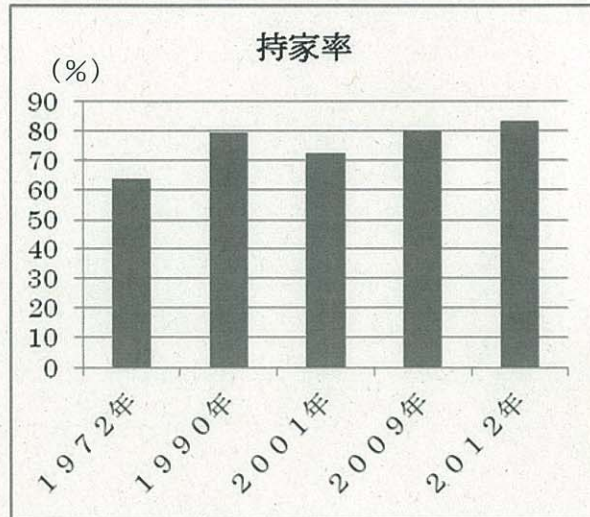
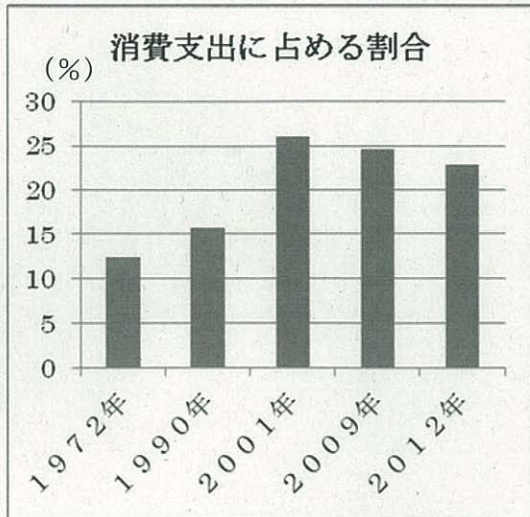


モニターさんの8割が持家、でも重い住居費！

「暮らしの40年」誌より



☆コープかながわのモニターの持ち家率は、1972年は63.6%でしたが、どんどん伸びています。注目点としてバブル景気の崩壊後に持ち家率が落ちていますが、住居費の割合は高くなっています。バブル期に高い住宅を購入したことが伺えます。

☆消費支出に占める住居費の割合は、2001年（26%）まで毎年伸びてきましたが、この年をピークに、ここ10年は毎年減り続けています。2012年は「住居費・その他」は前年比92%、「住宅ローン」は89.4%と大きく減少しています。低金利や将来への不安から、繰り上げ返済をして負債を減らしているのも一因でしょう。家は購入後もメンテナンスが必要です。リフォーム（介護仕様も含む）や外壁の塗装、電化製品の買い替えなどもこの費目ですが、どれも高額です。生活防衛のために減らしていることも考えられます。ただ40年前に比べると、1972年には消費支出12%しか「住居費・その他」にお金をかけていませんが、2001年は26%で2倍以上になっています。住宅が高価になったことや、生活が豊かになったことと、生活の基盤の家を大事にしているということでしょうか？

コープかながわと日本生協連の全国平均との「住居費」の比較

（2012年消費支出の中での割合）

- コープかながわ・・・22.9%
- 全国平均・・・・・・・・・・20.2%

神奈川県は首都圏であるため、地価や家賃が高い傾向にあります。全国平均に比べると割合が多くなっています。



今月のおすすめは

「CO・OPたこ焼」です。たこが20%も入って、しっかりとたこの味わいが楽しめます。一つ一つ手焼きだから形はまん丸。これからの季節、巾着の具にして「おでん種」がおすすめです。

☆400g（20個）

☆賞味期間 365日（冷凍）

☆価格 398円